

議員研修会

♪パリ2024パラリンピック 男子ゴールボール
金メダリスト 萩原直輝選手を迎えて♪



詳しくは、P7をご覧ください。

令和7年 第1回定例会

もくじ

- P2 令和7年度予算
予算に対する討論
- P4 代表質問(5会派)
- P6 委員会で詳しく審査
- P7 議員研修会
- P8 一般質問(19人)
議長公務日誌
議員公務
- P12 議案審議結果

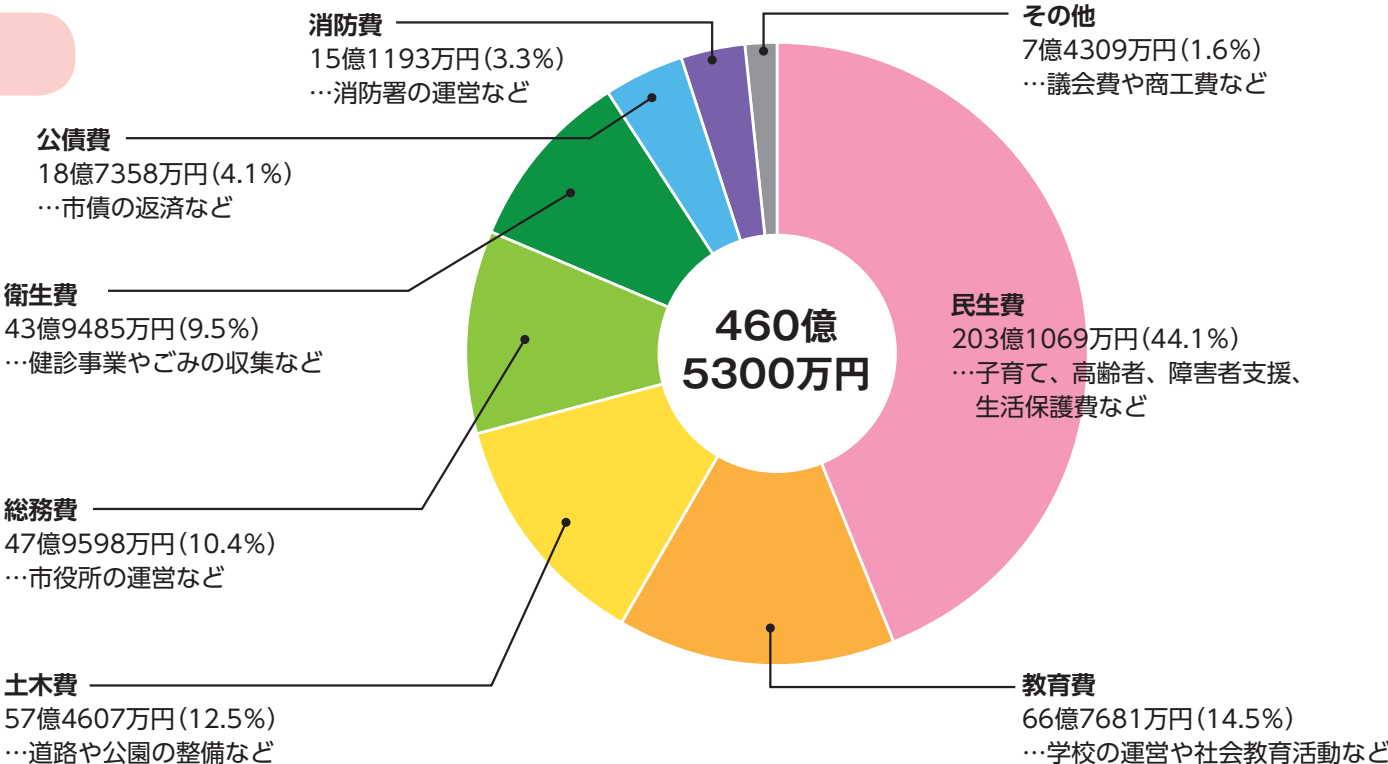
議会 日誌

1月	15日	29日	31日	2月	3日	17日	19日	26日				
総務委員会	建設環境委員会	福祉文教委員会		総務委員会 代表者会議	議會運営委員会 第1回定例会	行政報告、施政方針、 議案(補正予算・当初予算除く)説明、 議案(補正予算)説明、 質疑、特別委員会設置、付託、議案(当初予算)説明、特別委員会設置、付託	議案(補正予算・当初予算除く)説明、 議案(補正予算)説明、 質疑、特別委員会設置、付託、議案(当初予算)説明、特別委員会設置、付託	本会議				
5日	6日	7日	10日	11日	12日	13日	14日	17日	18日	19日	27日	28日
本会議	一般質問	議會運営委員会 本会議	一般質問	本會議	一般質問	議會運営委員会 予算特別委員会	理事会	議會運営委員会 本會議	一般質問	議會(補正予算・当初予算(即決除く)質疑、付託、議案(即決)質疑、討論、採決、所管事務調査報告 予算特別委員会 理事会	議會(補正予算・当初予算(即決除く)質疑、付託、議案(即決)質疑、討論、採決、所管事務調査報告 予算特別委員会 理事会	議會(補正予算・当初予算(即決除く)質疑、付託、議案(即決)質疑、討論、採決、所管事務調査報告 予算特別委員会 理事会

当初予算 前年度比 9.4%増

市議会は、令和7年度各会計当初予算案（総額791億7807万円・前年度比5.3%増）を3月28日の第1回定例会本会議で原案のとおり可決しました。

歳出



令和7年度 各会計予算額表

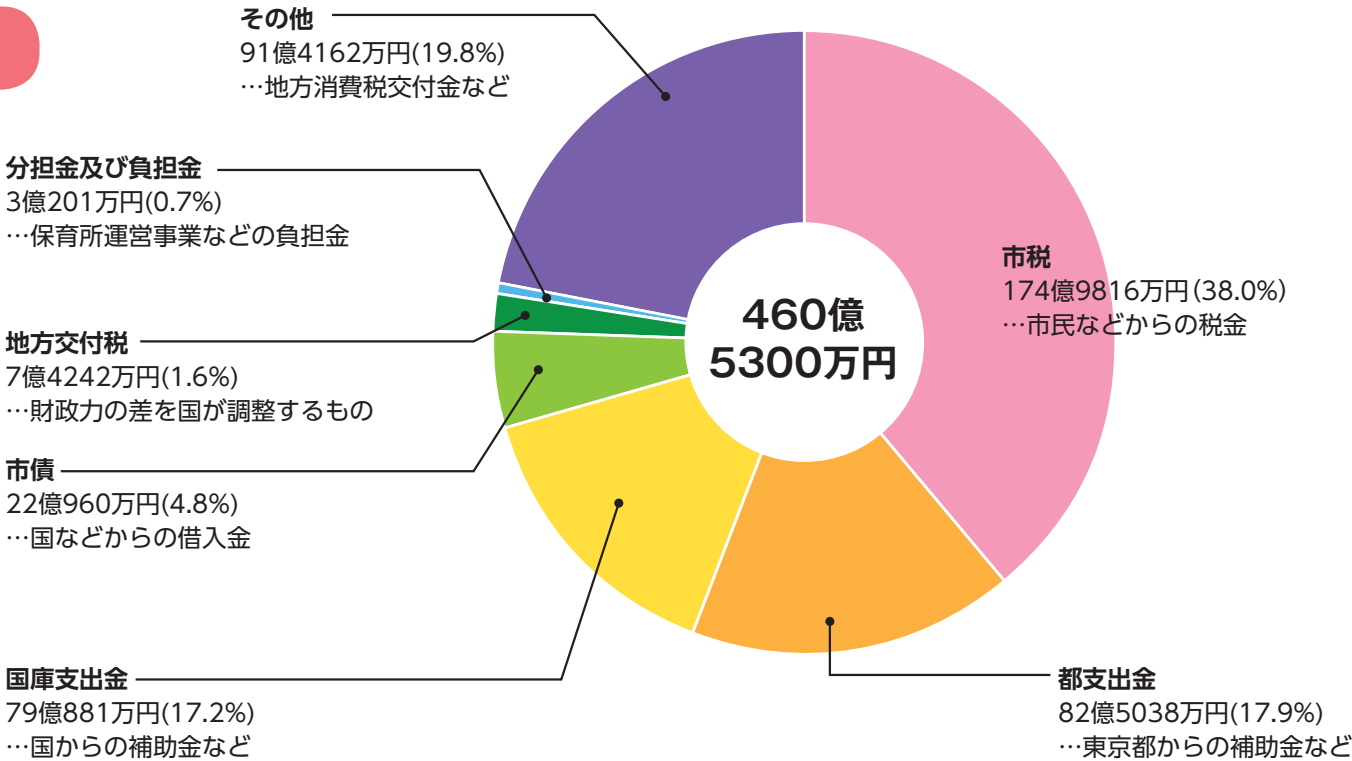
会計名	令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	増減額	対前年度比
一般会計	460億5300万円	420億8000万円	39億7300万円	9.4%
国民健康保険事業特別会計	79億9533万円	77億4547万円	2億4986万円	3.2%
土地区画整理事業特別会計	28億8375万円	40億 982万円	△11億2607万円	△28.1%
介護保険特別会計	64億7242万円	61億 854万円	3億6389万円	6.0%
後期高齢者医療特別会計	23億7133万円	22億8285万円	8848万円	3.9%
下水道事業会計	36億1635万円	32億6360万円	3億5275万円	10.8%
病院事業会計	97億8590万円	96億8399万円	1億 191万円	1.1%

令和7年度予算の特徴

新規 こども誰でも通園制度 プレ事業 子どもの健やかな成長を図るため、保護者の就労などの有無にかかわらず、幼稚園などで未就園児を定期的に預かり、令和8年度からのこども誰でも通園制度につなげる事業として実施する。 5673万円	新規 新モビリティ交通 実証実験 深刻なバス運転手不足や改善基準告示の改正施行などによる公共交通を取り巻く現状の課題に対応するため、新たな交通手段の導入の検証を行う。 4056万円	新規 BPR推進アドバイザー 業務委託 デジタル技術に関する知見を有する民間事業者の力を活用し、原課での業務フローの見直し(BPR)などの支援を行い、行政手続きのオンライン化を推進する。 1320万円
レベルアップ いなぎ防災マップ の更新 現行のいなぎ防災マップを、ハザードマップの区域や各種情報の変更などを反映したものに更新し、防災に関する最新情報を周知するとともに、継続的な普及啓発を図る。 861万円	レベルアップ 耐震化施策の拡充 令和6年に発生した能登半島地震の被害状況などを踏まえ、更なる防災力の向上を図るため、木造住宅の耐震化やブロック塀などの安全対策にかかる助成制度を拡充する。 635万円	レベルアップ 公共施設 予約システムの更新 利用者の利便性向上と施設管理業務の効率化を図るため、令和6年度に新システムに移行した体育施設に引き続き、その他の施設も新システムに移行するとともに、新たに若葉台公園管理棟会議室を公共施設予約システムの対象施設に追加する。 658万円

令和7年度 一般会計 460億5300万円

歳入



令和7年度 当初予算に対する討論

賛成

中島議員

稲志会

令和7年度予算を審査するに当たり、新たに取り組む事業や令和6年度からレベルアップされた事業に注目するとともに、折り返しを迎えた第五次稲城市長期総合計画に基づき、さまざまなインフラ整備事業が本格的な実施フェーズにあり、現在まさに取り組みが推進されている状況であることから、その内容についても確認した。代表質問や予算特別委員会での質疑を通じて提案した内容に適切に取り組んでいただくこと、将来にわたって持続可能な世代循環型のまち稲城が実現できるよう、着実に事業が執行されることを強く期待し、賛成する。

賛成

渡辺議員

新政会

令和7年度一般会計予算は、第五次稲城市長期総合計画の5年目に当たり、近年の物価上昇などの動向や社会情勢の変化を的確に捉え、多様化するニーズにおける課題に対して機動的に取り組んでいく決意が示された予算である。市の財政について、引き続き、業務改善や創意工夫などにより事務事業の効率化を進め、経費の縮減を図るとともに、更なる特定財源の確保に努めながら、将来を見据えて健全な財政を維持していくことを求める。土地区画整理事業特別会計予算についても、第五次稲城市長期総合計画に基づき、着実な事業進捗を図る予算となっており、賛成する。

賛成

湯谷議員

公明党

第五次稲城市長期総合計画基本構想に掲げる将来都市像の実現を目指し、市民が直面している物価上昇などの動向を考慮し、さまざまなニーズに対して機動的に取り組む予算であること、更には公明党が主張してきた子育て世代を切れ目なく支援する予算であること、発生の危機が高まる首都直下型地震などや近年頻発している豪雨災害などの脅威から市民の命や暮らしを守ることを最優先に、防災・減災対策に計画的に取り組む予算であることから、公明党は本予算案を高く評価し、賛成する。

反対

山岸議員

日本共産党

市の令和7年度一般会計予算は、歳入歳出ともに460億円と、昨年度予算から約40億円の増となった。過去10年間においても最大の伸び率であり、過去最大の予算規模となっている。これだけの予算を使って市民の暮らしと福祉の向上、子育て支援や生活支援を拡充させていく立場で審査に臨んだ。今年度予算には、日本共産党稲城市議団として求めてきた前進面としての事業も盛り込まれているが、予算総体として見れば、開発中心の予算であり、市民の暮らしや子育て、福祉の増進という地方自治体本来の役割を果たすには不十分であると考え、反対する。

賛成

榎本議員

改革未来の会

本予算は、市の持続可能な発展と市民福祉の向上を目的とし、多様な施策が盛り込まれている。特に子育て支援の拡充や福祉の向上、デジタル化の推進、公共交通への新たな取り組みといった重要な課題に対し、的確な対応が図られていることを評価する。引き続き、多様化する市民ニーズを的確に捉え、各種施策の取り組みを着実に進め、持続可能で健全な行財政運営に努めていただくことを要望し、賛成する。

賛成

武田議員

無所属

本予算は、物価上昇や社会情勢の変化に対応しながら、第五次稲城市長期総合計画基本構想の実現に向けた施策を推進するために編成されたものと考えている。特に市民の安全・安心の確保を最優先課題とし、防災・減災対策の強化に重点を置いている点进行评估する。多少の課題があるが、限られた財源の中で、市民の安心・安全を確保し、防災・減災対策の充実、更にはGIGAスクール構想の適切な推進を図るために必要不可欠なものと考え。賑わいの創出による観光のまちづくりや、交通環境の向上、稲城市庁舎の災害対策としての受変電設備の改修工事など、本当に多くの重要な施策が盛り込まれているということから、全体の予算を通し、否定するものではないと考え、賛成する。

賛成

梶浦議員

無所属

持続可能な行財政制度へ転換していくことが求められている社会情勢に鑑み、令和7年度の予算について、子供から高齢者まで市民の暮らし・生活を市がどのように支え、1年後どのように向上・改善できるのか、特に子育て支援や教育・福祉・介護・医療の施策を中心に総括質疑や福祉文教分科会で29問の質疑と他の議員の質疑を通じ、予算の内容を確認した。全体として、市民の生活の改善と向上が図られる予算であると確認したことから令和7年度予算に賛成する。

対する代表質問

本定例会冒頭で市長が述べた令和7年度施政方針に対して、市議会各会派の代表5名が、3月4日の本会議で代表質問を行いました。主な内容は次のとおりです。

稲志会



中島
議員

新政会



池田
議員

公明党



佐藤
議員

問 地域子育て相談機関の設置の概要と効果について。

答 既存の保育園などの施設や職員などを活用し、市内3か所に相談機関を設置する。日常的に子育てに関する相談・助言や情報発信を行うなど、子育てなどに関する不安解消が図られる。

問 日帰り型産後ケア事業の概要と効果について。

答 市立病院で行い、出産後6か月未満の母子を対象とする。支援が必要な産婦が、家庭状況に応じて安心して支援を選択・利用でき、育児負担が軽減できる。

問 A・L・Tの増員および配置時間の拡充の概要と効果について。

答 市立小中学校に配置するA・L・Tを6人に増員、一日の勤務時間を7時間30分に拡充し、直接雇用の市専従として任用する。授業時間以外の放課後などにもA・L・Tを活用することで児童・生徒の英語力の向上が図られる。

問 介護予防・日常生活圏域二一調査の概要について。

答 要支援者や要介護認定を受けていない高齢者を対象に、日常生活に関する項目を調査する。郵送・ウェブでの回答を予定している。

問 JR南武線高架下公園整備および南山地区の街区公園整備の概要とスケジュールについて。

答 ベンチや多目的スペースなどを整備し、令和7年度内の利用開始を目指す。南山地区の街区公園は、今後の地域ニーズを捉え、拡充予定であるため、今年度については暫定整備である。

問 読売ジャイアンツホームタウンであることの認知度向上を図るための内容と効果について。

答 ジャイアンツタウンスタジアムでのスポーツ体験イベントを予定しており、ホームタウンとしての認知度の向上、市民のシビックプライドの醸成に寄与する。

問 市施行および組合施行の土地区画整理事業の令和7年度の内容とスケジュールについて。

答 市施行4地区は、権利者との合意形成を図り、建物移転などを進めるとともに、道路や宅地などの整備を行う。組合施行の南山東部地区は、多7・4・5号東長沼矢野口線の築造工事を行うとともに、南山小学校前の街区などの宅地の整備を進め、計画的な保留地処分を行う。

問 稲城駅南口駅前広場改良工事および京王よみうりランド駅南口駅前広場詳細設計などの令和7年度の内容とスケジュールについて。

答 稲城駅南口駅前広場は、主に歩道部の改良工事を実施する。京王よみうりランド駅南口駅前広場は、バスロータリーの用地確保を関係者と協議し、詳細設計および横断歩道橋予備設計などを実施する。

問 デジタル人材の任用について。

答 自治体向けデジタル人材紹介サービスを活用して、専門的な知識を持つ人材を任用し、職員への監修などの業務や意識改革に資する役割を担ってもらう。

問 持続可能な行財政運営のための調査研究の具体的な進め方と活用について。

答 公共交通のあり方を調査・研究するため、専門事業者に調査を委託し、新公共交通システム導入を検討するためのエビデンスに活用する。

問 国および都の予算編成についての分析、市に与える影響について。

答 それぞれ担う役割などが異なることから、一概に比較することは困難だが、各分野に適切かつ効果的に予算が配分されていると分析する。ことも・子育て支援や防災対策など、共通の課題を抱える各分野の財源措置なども想定され、動向を注視する。

問 特定財源の確保、社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに対する具体的な対応について。

答 市政に寄せられるご意見、社会情勢および世論の動向など、さまざまな情報を政策的な見地で分析の上、多様なニーズに応える施策を適切な時期に実現できるよう、国や都と連携し、実施のための財源確保と併せて取り組んでいく。

問 防災・減災への計画的な取り組みについて。

答 近年の自然災害による教訓をもとに、自助・共助・公助の取り組みを推進し、地域防災計画に基づき、防災・減災対策に取り組む。

問 稲城第二小学校の校舎増築工事、稲城第三小学校の校舎建替工事、稲城第五中学校の体育館の屋上防水改修工事のスケジュールについて。

答 稲城第二小学校は令和7年3月着工、令和8年3月13日までに完了予定。稲城第五中学校は令和7年9月着工、12月までに完了予定。稲城第三小学校は令和7年7月着工、令和9年3月までに新校舎を建設し、新校舎に引越後、令和9年4月から旧校舎の解体および校庭整備に着工し、令和10年3月までに完了する予定。

問 月までに完了する予定。

問 (仮称)根方谷戸公園整備の構想について。

答 「TOKYO GIANTS TOWN」への玄関口に相応しい賑わいを創出する公園として、すり鉢状の斜面地形を生かして、ツツジなどの低木植栽を計画的に配置し、美しい景観のある公園を目指す。

問 多摩都市計画道路7・5・3号宿根戸線のうち川崎街道から鶴川街道までの道路築造等工事スケジュールについて。

答 引き続き地域住民のご理解とご協力を得ながら用地の取得を進めるとともに、用地買収のご協力をいただいた箇所において、道路築造工事などを実施する。

問 矢野口駅周辺土地区画整理事業の進捗に合わせた雨水幹線の整備内容について。

答 多摩川流域最下流部に位置する矢野口駅周辺地区の旧スーパー堤防C工区は、令和8年度より建物移転などに着手することから、道路築造工事に先行して、雨水幹線を埋設する必要があるため、雨水幹線の基本設計を行う。

問 地域防災活動の推進について。

答 いなぎ防災マップを更新して全戸配布するほか、各地域での防災訓練や防災講話など、さまざまな機会を捉え、市民の防災意識向上に努める。

問 特殊詐欺被害防止策について。

答 防犯機能付き固定電話機への切り替え支援およびサポート詐欺被害防止啓発封筒の配布を実施する。

問 こども未来戦略に基づくこども・子育て支援の本格実施に伴うこども政策の方針について。

答 こども・若者支援に関する施策・事業を計画的に展開することにより、身体的・精神的・社会的に幸せな状態で生活を送ることができるよう、いままんなか社会の実現を目指す。

問 地方創生交付金の活用について。

答 社会情勢の変化や多様化する市民ニーズなどを的確に捉える中で、必要に応じて、適切な時期に地方創生に資する対象事業を構築の上、活用を検討する。

問 物価高騰対策に対する市の取り組みについて。

答 国や都と連携し、適切な財源を確保した上で、必要な時期に必要な施策を実施する。

問 こども誰でも通園制度・事業の概要とスケジュールについて。

答 保育所などを利用していない未就園児を幼稚園などで定期的に預かる事業。令和7年度の下半期頃に、課題の整理など様々な準備を整え、開始を予定している。

問 産後ケア事業拡充の概要とスケジュールについて。

答 市立病院で行い、出産後6か月未満の母子を対象とする。令和7年度の第1四半期頃から体制などの準備を整え、開始する。

問 新規開設する定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の予定地と補助スケジュールについて。

答 稲城市百村に所在するいなぎ苑内に設置される。事業者は5月の開設を目指していることから、開設後の補助申請に基づき、速やかに補助金の交付を行う予定。



市長の施政方針に

日本共産党



岡田
議員

改革未来
の会



岩佐
議員

問 大幅賃上げ・消費税5%減税・学費・教育費ゼロへ国の政策実行を求めることについて。

答 国の令和7年度予算において、全ての世代の現在および将来にわたる賃金・所得の増加を最重要課題として捉え、対応すると表明されている。

問 物価高騰の下、市民の暮らしを支える取り組みについて。

答 国や都と連携し、適切な財源を確保した上で、必要な時期に必要な施策を実施する。

問 防災・減災対策について。

答 全国各地で発生した大規模災害での教訓を踏まえ、「自らの命は自らが守る」ことを基本とし、自助として在宅避難への備えや停電・断水時の対策強化が必要であると認識している。いなぎ防災マップを更新し、全戸配布して防災に関する正しい知識や情報を提供し、在宅避難の備えを推進するほか、停電対策として、公共施設や避難所への発電機などの配備や、断水対策として、応急給水拠点での飲料水の提供や、飲料水の備蓄、災害時生活用水井戸の整備に取り組んでいる。

問 こども誰でも通園制度、プレ事業について。

答 事業の子どもの保育環境の質を保つことや、国や自治体が責任を持つ保育施設に入れる体制を作ることについては、国や都の基準に基づき実施するものと考えている。

問 稲城第二小学校の校舎増築工事、稲城第三小学校の校舎建替工事における気候変動対策について。

答 稲城第二小学校は、PPA事業により屋上に太陽光発電設備を設置するとともに、壁および屋上

部分へ断熱材を敷設し、窓ガラスはペアガラスにする予定。稲城第三小学校は、加えてアルミ樹脂複合サッシにするなど、ZEB化を行う予定。

問 小中学校の特別教室のエアコン設置について。

答 令和7年度夏季休業日期間を中心に工事を行う予定。

問 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業委託の現状および健康状態不明者の把握・支援を追加する理由と経過について。

答 多剤服薬に着眼し、フレイル予防も含めた事業を実施してきており、追加の理由と経過は、医療受診歴などのない方が増加傾向にあったことなどによる。

問 開発優先から暮らし・福祉・教育・環境優先の市政への転換について。

答 市政運営の基本姿勢は、市議会で議決した第五次稲城市長期総合計画の各施策を着実に実施していくこと。

問 稲城駅南口駅前広場の改良工事について。

答 既存レイアウトの見直しは、バスやタクシーなどの乗車場や待機場所を増やすために行う。一般車の送迎は従来から可能。駐輪場は、北口駐輪場の空き具合を考慮しながら、今後研究する。本工事完了後に、シェアサイクルステーションの新設を予定している。

問 バスの見直しについて。

答 市民ニーズなども踏まえ、少しでも減便や廃止の影響が少なくなるように、代替手段などを含め、稲城市地域公共交通会議などで協議していきたい。

問 職員配置の適正化の具体的な施策と結果について。

答 組織改正に伴う職員の適正配置を行ったことにより、業務効率の向上と、市民サービスの向上が図られた。

問 優先的に取り組むべき課題の分野と市民ニーズの把握と実現について。

答 第五次長期総合計画基本構想にある将来都市像の実現に向けて、着実に各種取り組みを進め、収集した市民ニーズに対し、迅速かつ効果的に施策を実現していく。

問 防災・減災の取り組みについて。

答 近年の自然災害による教訓をもとに自助・共助・公助の取り組みを推進し、地域防災計画に基づき、防災・減災対策に取り組む。

問 こども誰でも通園制度の保育の質と向上への取り組み、預かる施設が主に幼稚園である理由について。

答 質と向上への取り組みは、国や都の基準に基づき実施する。主に幼稚園としている理由は、保育園では保育室に余裕がないが、幼稚園では比較的保育室などに空きがあり、1・2歳児を預かりやすい環境にあることなどによる。

問 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の新規開設の支援について。

答 市の地域包括ケアシステムの深化、推進が一層図られると判断したことから行う事業で、提供する事業所が増え、住み慣れた地域での在宅介護や看護が受けられることで、市民の福祉や生活向上に貢献すると考える。

問 高齢者の保健事業と介護予防

を一体的に実施する事業委託の目的と背景について。

答 後期高齢者が、地域で健康的な生活を送れるようにすることを目的とし、必要性としては、高齢者が抱える健康課題へ対応を図ることが大変重要と考える。

問 JR南武線高架下公園整備事業および南山地区の街区公園整備の地域からの要望について。

答 多目的に利用できる公園、子供の居場所となる公園などを早期に整備してほしいとの要望を頂いている。

問 サポート詐欺被害防止啓発封筒の内容と効果について。

答 サポート詐欺の特徴や相談先を記載したオリジナル封筒を市内のコンビニに配布し、普段、電子マネーを購入しない年齢層の方などが購入した際に、電子マネーのカードを収納する封筒として配布する。封筒に記載された「電子マネーの購入を促されたら詐欺」といった文言を目にすることで、詐欺被害に気付くきっかけとなる効果を期待する。

問 行政情報を発信する職員の業務意識の改革方法について。

答 自治体向けデジタル人材紹介サービスを活用して、専門的な知識を持つ人材を任用し、職員への監修などの業務や意識改革に資する役割を担ってもらう。

問 持続可能な行財政運営のための調査研究の目的、調査結果の活用方法について。

答 公共交通のあり方を調査・研究するため、専門事業者に調査を委託し、新公共交通システム導入を検討するためのエビデンスに活用する。



岩佐議員

岡田議員

佐藤議員

池田議員

中島議員

委員会で詳しく審査しました

～令和7年第1回定例会中に審査した内容は下記のとおりです～



総務委員会

議案3件を審査しました。

刑法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例は、質疑・討論がなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例は、3件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 条例改正の趣旨は。

答 育児休業、介護休業等育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に基づき、条例を改正する。

問 子の看護休暇の取得事由の拡大により、どうなるのか。

答 学級閉鎖による休暇、入園式のための休暇などが取得可能となる。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例は、3件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 通勤手当上限額の引上げ理由は。

答 人材確保が喫緊の課題である状況などを踏まえ、東京都人事委員会勧告の趣旨に沿って改正する。

問 扶養手当の改正の理由は。

答 社会と公務の変化、子に関する経費の実情などを踏まえ、配偶者に係る手当を廃止し、その原資で子に係る手当を支給することになった。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

福祉文教委員会

議案3件を審査しました。

稲城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例は、2件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 この改正により体制を整える必要がある保育事業所はあるのか。

答 市内には現在ない。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市立稲城第二小学校校舎増築工事請負契約は、1件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 断熱材と太陽光パネルの設置場所は。

答 屋上、壁に、断熱材を設置する。太陽光パネルは、工事完了後、PPAによる設置の検討を予定している。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

損害賠償の額を定めることについては、2件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 裁判所からの和解勧告に対する市立病院の対応は。

答 裁判所の見解として、市立病院側に過失はないが、医療が原因の事件であることと病状その他の事情を考慮した結果、解決金250万円での和解が相当であるとの考えが示されている。7年かかっている部分や、原告側の和解の意向、裁判所の考えも考慮して、和解する方向としたい。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

建設環境委員会

議案7件を審査しました。

稲城市道路線の廃止については、現地調査の後、審査を行い、質疑・討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

負担付きの寄附の受納については、1件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 寄附に至る経過は。

答 大丸で計画される建築物の事業者から、宅地開発等指導要綱に基づく公園・緑地の整備・提供が困難である旨の申し出があり、協議を行ったところ、急傾斜地崩壊対策の費用を寄附する旨の提案があった。急傾斜地崩壊対策事業は、土地所有者などによる対策が困難な場合、都が実施できる事業であり、この費用負担として、事業者より市が寄附を受納するものである。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市まちづくり条例は、2件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 条例の目的と意義は。

答 都市計画マスタープランに掲げるまちづくりの実現に向けて、まちづくりへの市民参加、開発事業における手続きの2本の軸で構成し、条例により実効性を高め、魅力あるまちづくりの実現を図る。

問 施行期日を令和8年4月1日と規定している理由は。

答 市民や事業者への周知期間を1年間設けるためである。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市まちづくり推進事業基金条例を廃止する条例は、1件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 稲城駅周辺の土地区画整理事業の組合の解散に伴う寄附金を基金に積んで、まちづくりに関する活動を行っている団体に対して補助したこれまでの実績は。

答 平成6年度からの4年間に、5団体に130万円の補助金を支出したが、平成10年度以降は交付の実績がない。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市国民健康保険財政運営基金条例を廃止する条例は、1件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 基金の設置目的である保険給付その他財源の不足が突発的に生じなくなった理由は。

答 平成30年度から、都が医療費の全額を交付する仕組みとなり、市が支払う納付金は、年間の額があらかじめ通知されているため、現在では、計画的かつ安定的な財政運営が可能となっている。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市国民健康保険高額療養費貸付基金条例及び稲城市国民健康保険高額療養費資金貸付条例を廃止する条例は、1件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 貸付制度の利用実績は。

答 平成18年度に72件の利用があった後、減少し、平成25年度以降は全くない。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。



▲まちづくり推進事業基金の全部を充当し整備している稲城駅前ロータリーのイメージ図

補正予算特別委員会

議案5件を審査しました。

令和6年度東京都稲城市一般会計補正予算(第8号)は、17件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に期待する効果は。

答 物価高騰対策を速やかに、かつ、的確に実施し、閉塞感を打破するとともに、市民および事業者の方々に、安心と安全を感じていただくような効果を期待している。

問 災害対策備蓄資機材事業による資機材配備の経緯は。

答 能登半島地震の状況などから、避難所の衛生環境の改善が重要と考え、国の交付金

問 中小規模飲食店舗出店補助金の目的と概要は。

答 物価高騰の影響を受ける事業者が市内に飲食店舗を出店する際の費用を、補助率2分の1以内、60万円を上限として補助することで、市内商業の活性化および経済効果の促進を図る。

問 商工会補助金でプレミアム付き商品券事業を行うスケジュールは。

答 デジタル商品券は、申込み期間を7月3日から、利用期間を7月30日から予定し、紙の商品券は、申込み期間を7月27日から予定している。

問 商工会補助金について、物価高騰の交付金を活用し、事業を実施する目的は。

答 消費を下支えする目的で、多くの市民が活用できるプレミアム付き商品券の発行を実施する。

問 カーボンニュートラル住宅設備等補助金について、事業実施のスケジュールは。

答 4月当初は、令和6年度に設置した方から募集を始め、7月頃に、新年度に設置した方を募集していきたい。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

令和6年度東京都稲城市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)、令和6年度東京都稲城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)、令和6年度東京都稲城市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)および令和6年度東京都稲城市病院事業会計補正予算(第2号)は、いずれも質疑・討論がなく、採決の結果、

起立全員により原案のとおり可決されました。

議員研修会

♪パリ2024パラリンピック 男子ゴールボール
金メダリスト 萩原直輝選手を迎えて♪

令和7年1月23日にパリ2024パラリンピック 男子ゴールボールの代表メンバーで金メダルに輝いた萩原直輝選手を講師に招き、講義と実際にゴールボールを体験させていただきました。



前半は、座学にて萩原選手の講義を受けました。萩原選手の生い立ちやゴールボールを始めたきっかけ、ゴールボール、パリ2024パラリンピックでのことなどさまざまな話を聴きました。

後半は、実際にタオルなどで目隠しをしてゴールボール用のボールを使用し、キャッチボールや萩原選手が投げたボールを受けるなどの体験をさせていただきました。

ボールは意外と重く、中に入っている鈴の音も大きく感じました。実際に目を隠すと恐怖感が沸き、方向感覚も鈍くなるので、仲間の掛け声の大切さを実感しました。



●ゴールボールってどんなスポーツか 知っていますか？

1チーム3人の選手が鈴の入ったボールを転がすように投げ合って、味方のゴールを守りながら、相手ゴールにボールを入れて得点を競う競技です。ボールがゴールに入ると1点入り、最後に得点が多い方が勝ちとなります。

また、選手全員が視野や視力などの障害の程度に差が出ないようにアイシェード(目隠し)を付けます。

実際の競技では、選手が投げるボールの速度はなんと、時速60～70kmにもなるそうです。



一般質問

本定例会の3月5日から4日間にわたり、
19人の議員が市政について59項目の一般質問を行いました。
その要旨は次のとおりです。紙面の都合上、1人1項目のみ掲載しています。
なお、その他の質問項目については、
市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

稲城市の火山対策について



中島 議員

問 地震や風水害は頻繁に発生し、被害も広範囲に及ぶため、防災意識が高まりやすい一方、火山災害は噴火の兆候を捉えにくく、予測が難しいため、その重要性が見過ごされがちである。噴火が引き起こす火山灰などは広範囲に深刻な影響を及ぼし、長期的な経済的損失を引き起こす可能性があるため、火山災害のリスクを過小評価することなく、正しく恐れ、そのための備えをすることは非常に重要である。富士山などの火山災害などに対しての市の基本方針は。

揮して災害応急対策の実施に努めることである。

問 富士山などの火山災害などで推測される市内への降灰量は。また、都が策定した大規模噴火降灰対応指針では、2センチメートルから10センチメートル程度の降灰が想定されている。

問 富士山などの火山災害などに対して市が市民に求める役割は。

答 気象庁が発表する降灰予報などの火山災害に関する情報を日頃から理解し、在宅避難に備えて、食料などの備蓄のほか、マスクや目を守るゴーグルなどの備蓄、車両の使用自粛など、自らができる降灰対策を取り、準備しておくことが重要であると考えている。

答 気象庁が発表する降灰予報などの火山災害に関する情報を日頃から理解し、在宅避難に備えて、食料などの備蓄のほか、マスクや目を守るゴーグルなどの備蓄、車両の使用自粛など、自らができる降灰対策を取り、準備しておくことが重要であると考えている。

TOKYO GIANTS TOWNのグランドオープンに向けた、地域経済・観光の発展への取組について



佐藤 議員

問 デジタル地域通貨について、市の認識は。

答 地域内でのみ使用可能なため、資金の地域循環を促進し、地域経済の活性化が図られること、市民活動や健康増進支援などのポイントの付与が容易にできること、消費者の購買行動などとのデータ分析が可能であることなどの効果がある一方で、デジタルデバイスを利用しにくい方にとっては利用が困難となる可能性があること、システムの構築や運用に多額の経費が必要であること、利用者や加盟店が少ないとデジタル地域通貨の効果が十分に発揮されない場合があることなど、課題も多いものと認識している。

問 デジタル地域通貨の導入について、市の見解は。

答 さまざまな効果を見込めると同時に課題も多いことから、現時点では導入する計画はない。

問 TOKYO GIANTS TOWNのグランドオープンに向けて、飲食店などの店舗は増加し、野球、イベント、地域行事が行われることで、市における物・サービスの売り買いは飛躍的に伸びると思う。デジタル地域通貨を導入するには絶好のタイミングである。今後デジタル地域通貨を研究し検討することは意義のあることと考えるが、改めて市の見解は。

答 現時点では導入する計画はないが、他自治体のデジタル関連施策の情報については引き続き広く収集していく。

路線バス・iバスを地域公共交通として守る取組について



岡田 議員

問 路線バス・iバスを、市民の暮らしを支える地域公共交通として守る姿勢に立つべきと考えるが、市の基本姿勢は。

答 路線バス事業者では全国的な課題である深刻な運転手不足により、コミュニティバスを削減しても路線バスを維持していくという方針であり、周辺市を含め、多くの路線の減便や廃止の申し入れがされている状況である。市では、市民ニーズなども踏まえ、稲城市地域公共交通会議などで協議していきたい。

問 iバス見直しは、現行の路線と本数を維持できるように取り組むとともに、デマンド交通なども同時に検討しながら、地域公共交通として、市民サービスを守る取り組みを求めるが、

答 iバス見直しは、現行の路線と本数を維持できるように取り組むとともに、デマンド交通なども同時に検討しながら、地域公共交通として、市民サービスを守る取り組みを求めるが、

問 iバス見直しは、現行の路線と本数を維持できるように取り組むとともに、デマンド交通なども同時に検討しながら、地域公共交通として、市民サービスを守る取り組みを求めるが、

答 iバス見直しは、現行の路線と本数を維持できるように取り組むとともに、デマンド交通なども同時に検討しながら、地域公共交通として、市民サービスを守る取り組みを求めるが、

問 iバス見直しは、現行の路線と本数を維持できるように取り組むとともに、デマンド交通なども同時に検討しながら、地域公共交通として、市民サービスを守る取り組みを求めるが、

答 iバス見直しは、現行の路線と本数を維持できるように取り組むとともに、デマンド交通なども同時に検討しながら、地域公共交通として、市民サービスを守る取り組みを求めるが、



▲3月1日にオープンしたジャイアンツタウンスタジアム

学校給食の無償化による食材基準、食材調達への影響について



村上 議員

問 学校給食費の無償化により食材調達の基準や、給食の内容決定の仕組みに変更はあるのか。

答 変更はない。

問 稲城市学校給食用物資に関する基準は。

答 安全で衛生的かつ良質な食材を調達するため、主な食材の選定基準について定めたものである。

問 令和7年度から秋田県で作付・収穫される「あきたこまち」が、重イオンビーム放射線を照射し、遺伝子改変をした「あきたこまちR」に全て置き換えられ、秋田県から無償提供された県において栽培される「あきたこまちR」もあるとのことだが、表示は「あきたこまち」としか表示されない。この改変による安

問 令和7年度から秋田県で作付・収穫される「あきたこまち」が、重イオンビーム放射線を照射し、遺伝子改変をした「あきたこまちR」に全て置き換えられ、秋田県から無償提供された県において栽培される「あきたこまちR」もあるとのことだが、表示は「あきたこまち」としか表示されない。この改変による安

問 令和7年度から秋田県で作付・収穫される「あきたこまち」が、重イオンビーム放射線を照射し、遺伝子改変をした「あきたこまちR」に全て置き換えられ、秋田県から無償提供された県において栽培される「あきたこまちR」もあるとのことだが、表示は「あきたこまち」としか表示されない。この改変による安

問 令和7年度から秋田県で作付・収穫される「あきたこまち」が、重イオンビーム放射線を照射し、遺伝子改変をした「あきたこまちR」に全て置き換えられ、秋田県から無償提供された県において栽培される「あきたこまちR」もあるとのことだが、表示は「あきたこまち」としか表示されない。この改変による安

問 予防・啓発の取り組みは。

答 30歳から70歳までの5歳刻みの年齢になる女性を対象に、検診を実施しており、広報などで周知している。市立病院では、精密検査を要する方に整形外科の受診を勧奨している。また、稲城ふれあい保健・医療まつりでも骨密度測定を実施している。

問 医療機関との連携は。

答 検診での問診および測定結果で要指導などの区分に該当する方に栄養士による個別栄養相談を実施するとともに、市内整形外科を一覧にしたチラシの配付により、受診を促し、早期発見と早期治療につなげる取り組みや、未受診者のフォローアップにも取り組んでいる。市立病院では、エビデンスに基づく薬

骨粗しょう症の取組について



榎本 議員

物療法を導入している。骨粗しょう症に起因する骨折が急増しており、手術加療も行っているが、手術後に1か所の骨折がきっかけで他の部位にも骨折が広がってしまうドミノ骨折も多く、長期的なフォローアップが必要なケースにも対応している。

問 歯科医会との連携は。また、市立病院の具体的な対応と、病院内の連携は。

答 X線画像による評価がスクリーニングに有用であるといった意見は承知しており、歯科医会の意見も聞きながら研究していく。市立病院では、薬物療法と、病院内の連携として、理学療法士によるリハビリテーションや、管理栄養士による栄養指導などを行っている。

市民生活の向上めざし

フィリピン・セブ州コルドバ町との教育交流協定締結について



角田 議員

問 教育交流協定締結の経緯は。
答 市立小中学校では児童・生徒が英語に日常的に慣れ親しむ環境をつくり、外国の方と自分の考えや意見を英語で発話する機会を確保するために、教育交流支援業務委託事業者より提案のあった外国自治体の中からフィリピン共和国セブ州コルドバ町を選定した。令和7年1月10日にウェブ会議システムを活用して、市教育委員会とコルドバ町とをオンラインでつなぎ、両自治体の紹介、市教育委員会教育長とコルドバ町長とのメッセージ交換の後に協定覚書に調印し、協定を締結した。

問 概要は。
答 市とコルドバ町は、意見の相互交換を通じて双方の協力を

確立すること、両市町は、教育および文化の分野で特別な関係を築き、互いに関係を深めていくことを踏まえ、パートナーシッププログラムのもとで協力体制を築いていくことに同意し、協定覚書に調印した。

問 期待される効果は。
答 児童・生徒の英語の会話力や英語で自分の考えを発信する力が向上することにより、英語教育の充実が図られることや、外国の文化に対する理解が深まるなど、国際理解教育の充実が図られることである。なお、協定締結により、普通交付税の算定で外国語指導助手などの活用に必要な経費が基準財政需要額への算入対象となり、財源の拡充効果もある。

父親の産後うつ（パタニティブルー）予防と父親の子育て支援について



梶浦 議員

問 市で父親の産後うつの事例があるのか、どのような機会や場面で情報を捉えているのか、市の状況は。
答 赤ちゃん訪問で家庭の様子を確認したとき、また本人などからの電話などで把握した。その症状や状態は、母親の産後うつと同様な発症をしていることから、予防や対応が必要な状況であった。

問 父親が産後うつの状態にある子育て家庭への支援は、どのような対応をしているのか。
答 まず父親の産後うつについて、医療機関の受診や生活リズムの改善など、その方の状況に合わせた方法を検討すること。次に、子育て家庭には、様々な子育て支援施策を活用するな

ど、必要な支援につなげ、父親の産後うつが改善できるよう、伴走型の支援を実施している。

問 父親の産後うつに関して両親学級で実際にどのような説明をしているのか、父親の産後うつ予防の具体的な取り組みは。
答 産後うつは母も父も発症するケースがあること、両親でよくコミュニケーションを取り、産後の支援を活用し、育児負担を軽減することが予防にもつながることを伝えている。また、赤ちゃんの泣き声がストレスになる方が多いことから、赤ちゃんが泣きやまないという映像を使用し、赤ちゃんの泣き声を体験することで育児ストレスの軽減を図り、産後うつの予防につなげている。

から市で、青梅市を中心とした地域にはあるが、本市は近隣市を含め、路線は全くない状況である。今後もバスの運転手の慢性的な不足が見込まれる中で、都が三多摩格差を是正し、自動運転バスをこの地域に早急に走らせることが必要である。このバス問題を解決するには都と市の今まで以上の連携が必要である。この自動運転バスはすでに実証実験が行われた自治体もあるようだが、その中で判明した課題は。

問 令和6年、市を走る路線バスの大幅な減便が行われた。また、バスは事業者から現行の7台から3台への減便要請があり、維持も難しい状況である。公共交通の利便性向上に向けて都と連携し自動運転バスを活用することについての市の見解は。
答 都では、自動運転サービスの実現に向けた実証を行うなどの取り組みを進めていくと聞いている。令和5年4月の道路交

公共交通便利性の向上について



岩佐 議員

通法改正により解禁された運転手が搭乗しない自動運転バスが、運転手不足の解消のための切り札となるように開発が進むことに期待しており、今後都の動向を注視していく。

問 都営バスは23区のうち22区で通っているが、26市ではわず

稲城市の公共施設や教育現場におけるインターネット環境の整備について



武田 議員

問 中学生からのWi-Fi環境の整備を求める声に対する市教育委員会の考えは。
答 意見などは届いていない。

問 学校現場での意見収集の方法や、子供たちの声を適切に反映する仕組みは十分に機能しているのか。
答 校長会やタブレット活用推進委員会、教職員や児童・生徒からの意見を参考に、情報共有や研究を行っている。保護者からの意見は、毎年度、予算に対する稲城市立学校PTA連合会の要望で聴取しているが、過去3年間でWi-Fi環境整備を求める意見はない。

問 中学校PTAで、スタディアプリなどの導入を検討しているとのことだが、環境が十分に

道路陥没事故の対策について



土居 議員

問 調査・点検・補修・予防保全を引き続きお願いしたいが、今後の路面下空洞調査の考え方は。
答 今後の路面下空洞調査の考え方については、定期的に一次調査などを実施し、埋設管などやその周辺において異常が見つかった場合には、埋設管を管理している占有企業などと連携しながら適切に対応していきたい。また、下水道における今後の路面下空洞調査の考え方については、引き続き、道路管理者との連携を図るとともに、計画的に点検・調査・清掃を実施し、管渠の破損の有無を確認していく。

問 八潮市のような大規模事故を未然に防ぐためには、市と占

用企業者間での更なる連携が必要と考える。道路陥没予防の観点から、点検の根拠を明確にするために、路面下空洞調査を行う政計画に位置づけることが必要と考えるが、市の認識は。
答 路面下の空洞化対策として、平成31年度から路面下の定期点検を順次実施してきている。今後も引き続き、定期的な調査を行っていくに当たり、計画を検討していく必要がある。

義務教育の完全無償化でお金の心配なく子育てできる社会へ



山岸 議員

問 小中学校で保護者が購入する副教材の主な内容と金額は。
答 小学校では、学習ドリルや学習評価テスト、学習用ノートなどを購入しており、中学校では、資料集、学習問題集などを購入している。金額は、令和5年度は、小学校12校の1学年当たりの平均で年間6911円、中学校6校の1学年当たりの平均で年間9498円である。

問 小中学校の宿泊行事などでの保護者の負担金額は。
答 小学校6年生の体験学習の経費は1人当たり4万1700円であり、市の補助金を除いた保護者負担額は3万3千円である。中学校1年生の体験学習の経費は1人当たり5万7950円であり、市の補助金を除いた

保護者負担額は4万7750円である。中学校3年生の修学旅行の中学校6校の平均の経費は1人当たり6万2579円であり、市の補助金を除いた中学校6校の平均の保護者負担額は5万2129円である。

問 所得にかかわらず義務教育の保護者負担を全て無償化していくことについて、教育長の認識は。
答 義務教育は、法の規定により、授業料および教科書が無償の対象となっており、それ以外の費用は自己負担が原則である。市では、低所得世帯には、教育活動に必要な費用を支給しており、それ以外の全ての保護者負担まで無償の対象にする必要はないと考える。

保護者負担額は3万3千円である。中学校1年生の体験学習の経費は1人当たり5万7950円であり、市の補助金を除いた

用語の説明

本文中の太文字の説明です。

【**デマンド交通**】…予約する利用者に応じて運行する時刻や経路が変わる地域公共交通のこと。路線バスのように決まった停留所に止まるものや指定エリア内をタクシーのように自由に使うことができるものなど様々なタイプ

がある。正式には「需要応答型交通システム」と呼ばれる。
【**重イオンビーム放射線**】…ヘリウムより重い原子番号の原子の原子核(重イオン)を加速器で高速に加速し、照射する放射線の一種。植物に照射することで、DNAを破壊し、人為的に突然変異を誘発しやすくする手法。
【**トレーサビリティ**】…「trace(追跡)」と「ability(可能性)」

を組み合わせた造語で、製品の生産から消費までの過程を記録・管理し、追跡可能な状態にすること。
【**エビデンス(evidence)**】…主張や結論を裏付ける証拠や根拠、証言などを意味する言葉。
【**管渠**】…給水や排水を目的として作られる水路の総称。

市内の植栽管理状況について



川村 議員

問 昨年、倒木をめぐる事故が各地で相次いだ。市内で人身事故は発生していないが、向陽台地区は、雨風が強かった後は相当な大きさの枝が道路や歩道に多く落ち、危険状況の予測ができたことから、行政へも強剪定をしてもらいたい旨の要望をしてきた。向陽台地区の強剪定は15年以上前となるが、今回、強剪定した理由は。
答 向陽台通りにおいては、ケヤキが成長し、樹高が高くなっていることなどに伴い、折れ枝などの対応が近年増加していることや、信号機や街路灯などへの支障を考慮し、歩行者などの安全確保、街路灯の適切な維持管理の観点から、丈を詰め、樹形を整えるために、強めの剪定を実施した。
問 市内には、まだまだ多くの年を重ねた木がある。行政側が良かれと思って剪定しても、正しい知識がないと、市民の方から否定的な意見をいただいてしまう事もある。剪定理由や状況などを講習会や広報などで周知していただく事で、自治体と市民が協力して適切に緑を維持管理していく事につながると思う。現状の課題は。
答 道路植栽の維持管理における現状の課題は、限られた予算の中での対応を図る必要があるため、剪定時期の見極めや、対応する優先順位、剪定の強弱や根上がりなどへの対応方法が課題となっている。

平尾団地内のスーパーについて



つのだ 議員

問 これまでの取り組みは。
答 株式会社スーパーママザキ(以下、スーパーママザキ)が撤退した後の市の取り組みは、テナント誘致の助けになるよう、管理者である東京都住宅供給公社に対して、市内を含む近隣に出店しているスーパーの情報提供を行うとともに、地域の買い物拠点の維持に必要な対策として、移動販売車の導入に取り組んできた。
問 市も、地域の買い物拠点の維持について、いろいろと苦労があったかと思うが、ほかに実施した取り組みは。
答 スーパーヤマザキの撤退が決まった際に、スーパーママザキ並びに東京都住宅供給公社に対し、閉店後に空白期間を置かず、撤退したスーパーと同種の買い物拠点に参入してもらうよう配慮してほしい旨をスーパーママザキの本社並びに東京都住宅供給公社に直接、申し入れをしてきた。また、市と平尾住宅自治会、移動販売車の事業者、東京都住宅供給公社と平尾団地内商業関係情報連絡会を立ち上げ、移動販売車の導入に向けての確認や実施状況などの情報共有を図ってきた。
問 新たな事業者は。
答 東京都住宅供給公社より、4月下旬頃に、イオングループが都市型小型食品スーパーマーケットの店舗ブランドとして展開している、まいばすけっと株式会社の出店を予定していると聞いている。

すべての児童・生徒がSOSを発信しやすく、悩みを打ち明けやすい環境を目指して



湯谷 議員

問 全ての生徒がSOSの出し方に関する教育を受けているのか。受けていない児童・生徒へは、フォローしているのか。
答 「SOSの出し方に関する教育を推進するための指導資料」や、学級活動、朝礼などを活用し、学校の教育活動全体を通じて行っている。その上で、相談窓口連絡先一覧の配布・紹介や、児童・生徒一人一人の実情に応じて、悩みを抱えたときに助けを求めることの大切さや方法などについて、指導・支援を行うとともに、当該授業を欠席した児童・生徒へ個別の状況に応じてフォローしている。
問 不登校などの児童・生徒のSOSを学校や市教育委員会はどのようにキャッチしているか。
答 スクールソーシャルワーカーや子ども家庭支援センター職員による専門的な支援につなぐとともに、保護者と連携し、必要に応じて医療や心理などの専門家の活用を検討していく。
問 市内小中学校の児童・生徒に配付している学習用端末に、直接相談窓口につながるアプリの導入や相談窓口につながることを目的として、LINEやメールを使用できるように設定すべきと考えるが、市の考えは。
答 さまざまなトラブルに巻き込まれることが懸念されることから、メールなどを使用できない設定にしている。タブレット端末などを活用した相談の取り組みは、引き続き他市の情報を収集するなど研究していく。

稲城市の防災に関する取り組みについて



鈴木 議員

問 本年に入り、大丸地区、東長沼地区で大規模な火災が発生。被災された方々に迅速かつ迅速なシユ型での罹災証明書の発行、見舞金の交付がなされているか。
答 火災原因、損害などを調査し、罹災証明書を発行している。見舞金はプッシュ型で、災害状況確認調査を市長に報告、被災者から請求書を受けてから10日から30日程度で支給している。
問 条例上、犯罪や火災の発生、非衛生的など支障がある場合どのように指導、勧告しているか。
答 対象の土地所有者に口頭または文書にて適正管理の指導を行い、改善されない場合は、繰り返し指導を行っている。勧告や措置命令を行ったことはない。
問 違法な野焼きは懲役もしくは罰金またはこれらが併科される。農業や宗教関連のやむを得ない焼却は対象外だが、誤報出動を防ぐ対策、関係各部署間の情報共有、市民周知については。
答 野焼きの通報があれば職員が現地に赴き事実確認し、指導および注意を行っている。間違った通報による出動を防ぐため、「消防活動に支障を及ぼすおそれのある行為の届出書」により事前に消防署への届出を義務付けており、行為中は現場を離れないことや消火用具の準備など、焼却行為の注意について指導している。野焼きが原因の火災が増加しているため、注意喚起、市ホームページやSNSの活用、消防訓練指導などの様々な機会をとらえて市民周知に努める。

三沢川の桜について



池田 議員

問 令和6年第2回定例会にて、三沢川の桜の維持管理の進め方について質問し、「通行の安全を考慮した伐採などが必要に応じて進め、減ってしまった桜を補完するための計画の策定に向け、取り組み」のことであった。昨年末にも、安全を考慮し、消防署付近の桜の伐採が行われた。市民からは、桜の木が減っていくことへ危惧する声も多く聞かれる。桜を補完するための計画の進捗状況は。
答 計画策定に向け、桜についての現状を詳細に把握するため、現在、樹木点検を実施している。
問 伐採した箇所に新たな桜の木を植える場合に必要となる作業については。
答 残った切り株や根を撤去する抜根作業に加え、抜根の影響範囲における道路構造物や舗装の復旧工事などの作業を実施する必要がある。
問 三沢川の桜は、植樹からの経過年数も経ている。大切な観光資源としての桜の維持を念頭に置き、適切に管理してもらいたい。桜並木を抱える自治体において、クラウドファンディングの実施事例があり、財源確保として、取り組みべきだと考えるが、市の見解は。
答 地域課題解決のために必要な資金の確保が可能になると、プロジェクトを通じ市の施策をPRできること、地域活性化が図られるなどのメリットがあるため、他市の事例などを参考に研究していきたい。

市民の命を守る国民健康保険制度に向けて



田島 議員

問 国民健康保険における保険者努力支援制度の内容は。
答 国民健康保険の保険者努力支援制度は、保険者である都道府県および市町村における医療費適正化の取り組みなどを支援する制度となる。内容は、取り組みなどを評価する指標を設定し、達成状況に応じて交付金を交付する取組評価分と、予防・健康づくり事業の事業費と連動して配分する事業費分・事業費連動分とされている。
問 現在の国民健康保険制度は、被保険者の多くが所得の低い非正規労働者や無職者、年金生活者で占められているにもかかわらず、医療費水準は高く、保険料が高いという構造的な問題を抱えている下で、他の社会

保険に比べても保険料負担が高くなっている。国民健康保険制度は相互扶助ではなく社会保障であり、高過ぎる金額の負担を下げる必要があるのではないかと考えるが、認識は。
答 国民健康保険制度は、市は、被保険者を対象として、病気が、出産および死亡の場合に保険給付を行うことで被保険者の健康の保持増進を図る被保険者間の相互扶助を基本とした社会保険制度であり、国民皆保険制度の基礎をなすものであると認識している。そして、保険者は、国保財政の安定的な運営を確保し、被保険者の健康を守るため、保険給付費に見合った保険税率を設定する必要があると認識している。

議会の豆知識「一般質問ってなに？」

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市長に対し、市が行う福祉や教育、インフラなどのさまざまな事業についての現況、問題点、将来の方針など幅広く質問することです。

一般質問は、市民の代表である市議会議員が市の考え方をチェックし、市民の思いや要望を市民サービスに反映させる大切な役割を果たしています。

妊娠期からの切れ目のない支援の拡充について

問 多摩市では、産後ケアの利用料金が1泊3500円と利用しやすい料金設定となっている。本市においても、国の補助金を活用し、より利用しやすい料金設定にすべきと考えるが、市の考えは。

答 現在のところ適切に対応しているものと考えており、現在の利用料金を継続していく。

問 産後ケア事業を利用しない理由について把握しているか。

答 また、市内では、市立病院のほか、ベリエの丘クリニックでも産後ケアが行われているが、産後ケア事業の対象に含めることについては。

答 相談窓口や訪問の際に話を聞いている。また、利用状況などから市民の需要に対応できて

いることのほかに、施設側との調整がうまくいかないケースもあり、現在のところ対象施設を増やす予定はない。

問 厚生労働省の手引きでは、流産や死産を経験した女性に対する支援方法として、リーフレットなどの配付を通じて当事者に必要な情報を提供し、また自治体との連携により地域の支援資源を紹介することが推奨されている。これらの支援体制を市立病院でも積極的に導入し、取り組んでもらいたい。市の考えは。

答 これまでの家族ごとに寄り添った取り組みを引き続き行うとともに、リーフレットなどの配付や、院内オリジナルのものを作成するなど検討したい。

いそむら
議員

ジャイアンツタウンスタジアム開業に対する今後の取り組みについて

問 来場者に市内に足を運んでもらうための取り組みは。

答 ジャイアンツタウンスタジアムで稲城市PRパンフレットを配布し、市内の恵まれた自然環境や市内飲食店などをPRするほか、読売グループとの公民連携により市内店舗などをめぐるスタンプラリーなどの事業を実施し、市内周遊につなげていく。また、稲城市観光協会および稲城市商工会と会議体を立ち上げ、新たな事業について検討している。

問 ジャイアンツタウンスタジアムの来場者を市内回遊につなげていくには、帰りに立ち寄りたくなるような飲食店などが必要になると思う。そこで、市内に飲食店を増やす市の取り組み

については。

答 現在、飲食店出店の誘致として、中小規模商業店舗出店補助事業に取り組んでいる。本事業は、市内全域を対象に、新規に飲食店を出店する事業者に対し、出店時に係る経費の一部を補助することで地域経済の活性化に寄与し、市民の利用はもろん市外からの来訪者にも回遊してもらい、賑わいの創出につなげている。

問 中小規模商業店舗出店補助事業を実施しているといったことであるが、令和6年度の実施状況は。

答 令和6年度は、現在3件に対し補助金交付を行っている。また、現在2件の出店に伴う相談を受けている。

坂田
議員

議員公務

ジャイアンツタウンスタジアム内覧会
(2月26日)

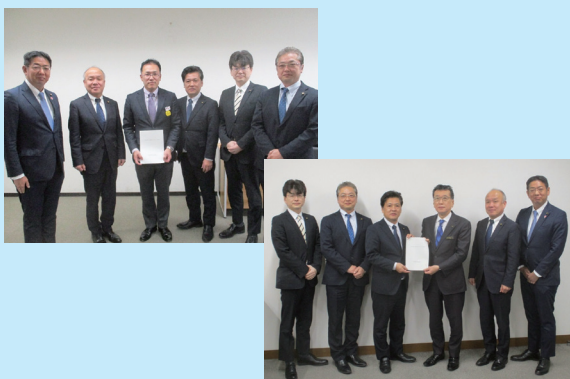
3月1日の開業に先駆け、スタジアム内を見学させていただきました。今後、水族館などのオープンも予定されており、市の観光事業の一助になると期待しています。



議長公務日誌

南多摩市議会議長会 要請行動
(2月4日)

八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市の5市の議長がメンバーとなっている議長会で、京王電鉄株式会社と多摩都市モノレール株式会社に要望書をお渡ししました。

稲城南多摩線道路開通式
(2月20日)

3月1日のジャイアンツタウンスタジアムのオープンに先駆け、スタジアムと稲城駅をつなぐ道路の一部の開通式にてテープカットを行いました。



市内工事完了(予定)施設を視察しました！

今後の議員活動に活かすため、市内の新たな公共施設などについて、現地を調査し、事業の進捗状況の確認や担当課からの説明を受けました。

視察地：①地域包括支援センターこうようだい ②榎戸土地区画整理事業
③吉方公園(吉方公園改修整備事業) ④南山東部土地区画整理事業 ⑤稲城第三中学校(PPA事業)



※PPA事業…公共施設への太陽光発電設備・蓄電池・付帯設備を設置する事業

令和7年第1回定例会での審議結果 (令和7年2月26日～3月28日)			議決結果	稲志会						新政会				公明党			日本共産党			改革未来の会			無所属			賛成	反対																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
				川村あや	北浜けんいち	中田誠	鈴木木誠	土居のりひろ	中島健介	渡辺力	角田政信	池田英司	坂田たけふみ	つのだじ寛美	佐藤しんじ	湯谷ひろし	岡田まなぶ	山岸太一	田島きく子	榎本久春	岩佐ゆきひろ	いそむらあきこ	村上洋子	武田まさひと	梶浦みさこ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
市長提出議案	条例																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	第1号	稲城市まちづくり条例	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○</

可〓可決
否〓否決
承〓承認
同〓同意
○〓賛成
×〓反対
議〓議長
欠〓欠席